



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年8月25日（水）No 16 発行
文責：松本 卓也

2学期始まる！ ～出会いや学びを楽しめましたか～

夏休みはどのようにお過ごしだったでしょうか。生徒の皆さんが、「命を守る」という約束を守り、登校してくれたことが何より嬉しいことです。8月2日（火）に「熊本 BA.5 対策強化宣言」が発令されるなど、新型コロナウイルス感染症対策が求められる中、思う存分夏休みを満喫することができなかつたかもしれません。それでも、一人一人の胸に、夏の楽しい思い出があることを願います。保護者の皆様には、お子様の体調管理や生活面、学習面での見守り等、大変お世話になりました。さて、本日より2学期がスタートしました。学校に子どもたちの元気な姿と賑やかな声が響くと、何だかホッとします。基本的な感染症対策の徹底を行いながらも、一人一人が活躍できる機会を設け、各々が成長できるように、全職員で支え、導いていきます。保護者の皆様には、お願いすることが多々あるかと思いますが、本校教育への引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



私たちにしかできない取組に

八代市中学生議会在9日（火）、開催されました。生徒会長、副会長の2名が参加し、〇生徒会長が「日本遺産の魅力を発信するガイドを中学生在が担うことで、八代を訪れる観光客の増加が見込まれ、多くの経済効果が期待できるのではないのでしょうか？」との提言を行いました。市長からは、「歴史・文化の次世代への継承につながる大変意義のある取組です。実施体制や運営方法など、具体的に検討し、今後は、一緒に頑張っていきたいましょ。」とのお答えをいただきました。堂々とした立派な参加態度でした。



再生資源回収、お世話になりました

20日（土）、小中合同再生資源回収を行いました。（悪天候のため、美化作業は中止）PTA三役、地区委員の皆さま方のご協力をいただき、多くの資源物を回収することができました。（用意していた袋がすべて満杯になりました・・・）売上金は、子どもたちの学習環境整備に大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。



【編集後記】本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること

▼多くの尊い命を奪った太平洋戦争が終結して77年が過ぎました。当たり前の日常や誰もが幸せに生きることができる世の中を創っていくことは、私たちの「使命」だと考えます。▼6日（土）に営まれた広島平和記念式典では、広島小学生二人がこども代表として、「平和への誓い」を読み上げました。



あなたにとって、大切な人は誰ですか。家族、友だち、先生。私たちには、大切な人がたくさんいます。大切な人と一緒に過ごす。笑い合う。そんな当たり前の日常はとても幸せです。（中略）

あれから77年経ちました。今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。戦争は、昔のことではないのです。自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは、強さとは言えません。本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとすることです。本当の強さをもてば、戦争は起こらないはずで

過去に起こったことを変えることはできません。しかし、未来は創ることができます。悲しみを受け止め、立ち上がった被爆者は、私たちのために、平和な広島を創ってくれました。

今度は私たちの番です。被爆者の声を聞き、思いを想像すること。その思いをたくさんの人に伝えること。そして、自分も周りの人も大切に、互いに助け合うこと。世界中の人の目に、平和な景色が映し出される未来を創るため、私たちは、行動していくことを誓います。

▼大切な人と一緒に笑い合う生活を創っていくのは、そこで暮らす私たち全員の努めです。一人一人の気持ちを大事にして、互いを認め、笑顔で生活ができるよう、共に努力していきたいと思います。「平和」を創る主体者として、子どもたちと共に行動していくことを誓います。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）